

# 臨床研究に関するお知らせ

当院では末梢型早期肺癌に対する定位放射線治療を2012年3月から開始し、ライナックが更新を迎えた2024年12月までに50名の患者さんにご同意が得て実施しました。ところが、当院では新規のライナック、呼吸同期装置ならびに治療計画装置が導入されたために、照射法や線量計算アルゴリズムなどが変更となったことから、今後は治療条件が異なることから、機器の更新前までに定位放射線治療を行った患者さんの治療成績を解析し、結果を学術論文に二次利用させていただきたいと考えております。そこで同期間に本治療をお受けいただいた患者様におかれましては、解析結果の二次利用を望まれない場合には、下記の問い合わせ先までご連絡いただければ幸いです。

## 【研究内容】

### ○演題名

・末梢型早期肺癌に対する総線量55Gy（1回13.75Gy 4回照射）で定位放射線治療を実施した症例の治療成績

### ○研究責任者

・三橋紀夫（株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 放射線治療科 主任医長）

### ○共同研究者

- ・茂木 厚（株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 放射線治療科 主任医長）
- ・根本善誉（株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 放射線技術科 主任技師）
- ・深谷恵子（株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 看護局 主任看護師）

## 【研究の目的と意義について】

当院では末梢型早期肺癌に対して、局所制御率の向上を目的として2012年3月から1回13.75Gyで4回、総線量55Gyの定位放射線治療を実地医療として行ってきました。当院がライナックの更新を迎えた2024年12月までにこの治療法をお受けいただいた50名の患者さんの治療成績を解析し、評価をさせていただきたい。そのうえで、解析して得られたデータを、がん関連の学術誌に論文として公表させていただきたいと考えています。

## 【研究の方法】

本治療にご同意いただいた患者さんの照射記録、また、カルテからのデータ（初診日、依頼元、年齢、腫瘍の進展度（腫瘍の存在部位、TNM分類、病期分類、病理学的所見）、局所制御、再発の有無、有害事象ならびに予後などを抽出し、臨床情報について統計処理を行います。

## 【研究対象者】

2012年3月から2024年12月までに前記の治療にご同意いただいた50名の患者様

### 【個人情報の取り扱いについて】

収集したデータは個人が特定できないように処理を行います。国が定めた 倫理指針（「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても個人が特定されない形で行います。

また、データの管理については外部に接続されていない院内の PC にて保存を行います。対象ファイルにおいては研究責任者及び共同研究者のみが管理するパスワードの設定を行い、第三者は閲覧できないような状況下にて管理を行います。

### 【利益相反に関して】

本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

### 【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者様ご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者様の情報は使用いたしません。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には完全に廃棄できない場合があります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までメール又はお電話にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

### 【問い合わせ等の連絡先】

株式会社日立製作所ひたちなか総合病院

放射線治療科主任医長 三橋 紀夫

メールアドレス：[norio.mitsuhashi.dm@hitachi.com](mailto:norio.mitsuhashi.dm@hitachi.com)

TEL：029-354-5111（代表）